

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 19号)

2021年 3月16日発行
 兵庫のみ研究所

西部域を中心にレプトシリンダラス等数種の珪藻が確認されますが、発生量は前回(3/9)調査と比較しやや少ない状況です。窒素は陸水等の影響が見られた地点を除き、江井ヶ島以東で $1 \mu\text{g-at/L}$ 台前半、魚住以西で $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均 10.5°C 。昨年比 0.7°C 低く、平年比 0.9°C 高い。(塩分) 平均 31.81psu 。前回(32.01)より約 0.2psu 低い。
 (栄養塩、珪藻) 前回調査同様に二見～高砂周辺で、レプトシリンダラスやリゾソレニア等の珪藻が確認された。ユーカンピアも同域で海水 1ml あたり50細胞前後見られるが、珪藻全体の発生量はやや減少している。魚住以東の海域ではこれら珪藻は散見される程度と少ない状況。昨日採水の神戸市地先や東浦北部(浦～仮屋)の海水において珪藻はほとんど確認されず、窒素は全般に $2 \mu\text{g-at/L}$ 台前半とやや回復している。明石海峡部においても同程度の値を示しており珪藻も少ないことから、この海域東部の窒素は前回調査並みの状況で推移しているものと考えられる。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.0	10.5	9.6	11.2
窒素	1.6	1.3	3.4	4.1
リン	0.28	0.29	0.30	0.40

(3/9)

※窒素の平均は別府を除く

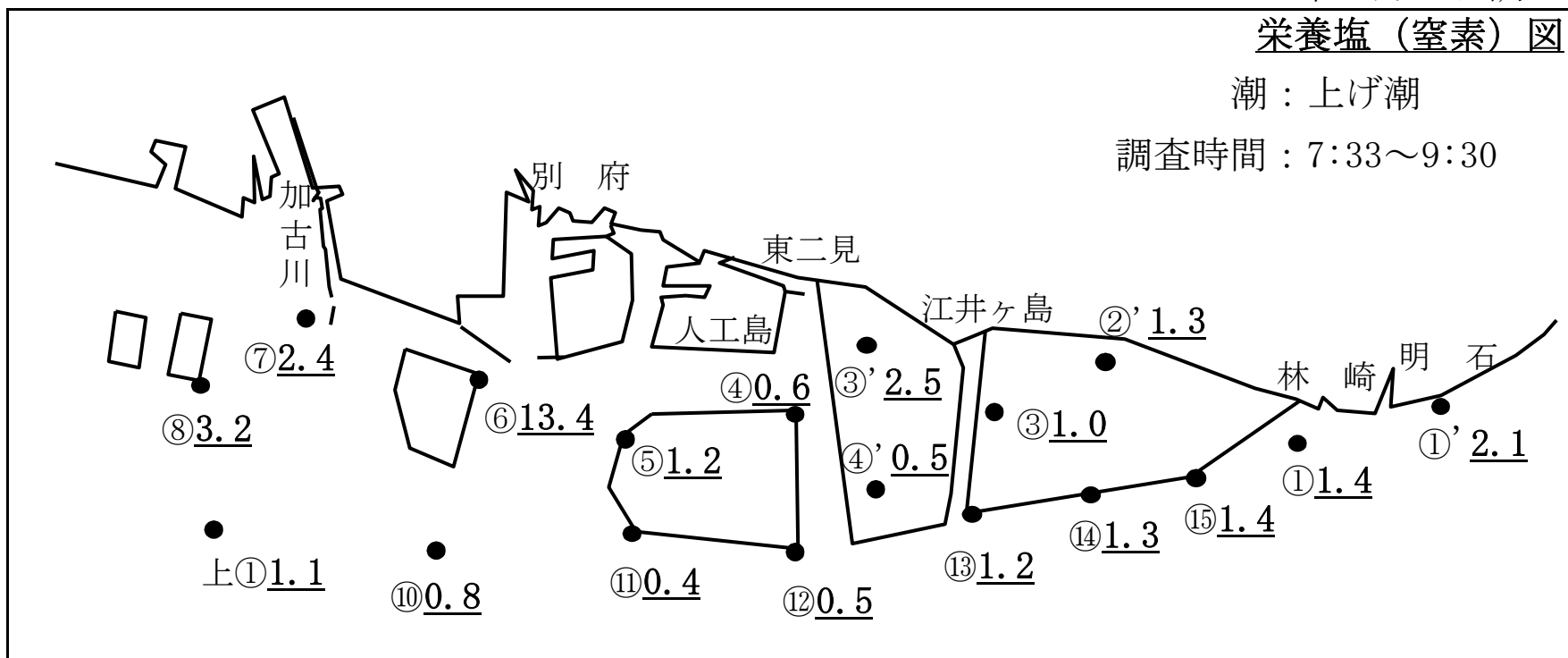
(3/13)

2021年 3月16日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：7:33～9:30



水温図

